

## 2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 3 日作成)

小委員会名	期限付き建築物設計法小委員会		主 査 名：辻 聖晃 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (仮設構造運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：軽部 正彦
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>設置目的：期限付き建築物の具現化に向けて、前身の小委員会での検討重点テーマ（適用設計ルートに分ける建物規模・設計荷重再現期間の決定係数・相応しい仕様規定）を踏まえ、設計法をより充実させ、既刊の「期限付き建築物設計指針（2013）」の改定版を作成することを目的とする。</p> <p>初年度：2016 年度大会で実施した PD を踏まえた検討等を行う。 2 年度：期限付き建築物の具現化に向け検討を深め、改定内容を具体化する。 3 年度：「期限付き建築物設計指針（2013）」の改定を前に、PD を開催する。 4 年度：充実した設計法を示した改定版を脱稿する。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	<p>主査：辻聖晃（大阪電気通信大学） 幹事：木村麗（建材試験センター） 委員：岩崎敏之（静岡文化芸術大学）、軽部正彦（森林総合研究所）、木村衛（エイ構造研）、近藤吉治（構造計画研究所）、坂井正美（アップコン）、佐々木健友（太陽工業）、新藤健太（森林総合研究所）、永野康行（兵庫県立大学）、林篤（JR東日本建築設計）、森保宏（名古屋大学）</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2019 年度予算	850,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	11 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	1. PD：期限付き建築物のメリットを活かした構造設計法の提案 『構造部門(仮設構造)パネルディスカッション資料：同上』 参加者数 55名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 「期限付き建築物設計指針（2013）」の改定を前に、設計法をより充実させる改定内容を紹介する資料を用いた大会 PD を開催し、今年度の目標を達成した。
委員会活動の問題点・課題	1. 2019 年度技術部門設計競技事業では、当小委員会の活動内容とも関わりがあるにもかかわらず、情報の共有がされなかったこと。